

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 年 月 日 事業所名 オセロ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2		スペースはあるが危険な場所(柱など)があるので改善していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切である	4	3		日や状況によってきつい事がある。送迎に行くと、配置数が減ることがあるので改善していきたいと思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	5		出入口等の段差を改善していきたい。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1		研修会を通じ今後周知していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			評価表や常時ご家族様のご意見をもとに今後業務改善を行っていききたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		前回と同様に、事務所掲載及びHPに公開を行います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		第三者による外部評価は行われていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		参加したい研修に行くことができています。	現在は研修を定期的に受けれる環境を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		作成できているが、今後も改善していきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3		アセスメントツールを導入し、改善していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		毎週話し合いを行い、立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		活動内容の工夫を行い今後も継続していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2	長期休暇前は必ず一日の活動を立案している。	長期休暇等前の一日の活動立案を継続していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		今後も児童の特性に合わせた放課後等デイサービス計画を立案していく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3	昼休憩時ミーティングを行っている。送迎等で打ち合わせができないこともある。	昼休憩等にミーティングができるときはしている。送迎等で打ち合わせができないこともあるので改善していきたい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	3	その日ではなく次の日に行っている。	情報共有につとめており、今後も継続していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			支援経過記録を徹底しています。今後も継続していく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			改善されているので、今後も継続していきたい
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2		まだ不十分のところもあるので改善していきたい
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		サービス担当者会議の際に、適任者を選出同席させている
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			学校との情報共有ができています。今後も継続していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	現在受け入れなし。	現在受け入れなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	6	出来ていません。	出来ていない為、今後改善できることをしていきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	前例なし。移行するケースがまだありません。	前例なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		7	機会がありません。	機会がないですが、今後検討する
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7	機会がありません。	機会がないですが、今後検討する
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		6		機会がないですが、今後検討する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			連絡帳を通して情報共有をしています

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	面談はしているが、ペアレントトレーニングは行える人材がいません。	面談はしているが、ペアレントトレーニングは行える人材がないので、今後検討したい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		契約時説明を行っている。今後も継続していきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			常に相談できる環境を作っています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	開催していません。	保護者会は開催していない。が、保護者同士のつながりは支援を行いたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			相談の申し入れがあった際、速やかに対応できるよう情報共有を行う
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		月に一部だよりの作成、配布。毎月おたよりを作成したり、行事についてはメールでお知らせをしたりしている。	月に一度発行するお便りやインスタ等を活用し情報共有を行う
	35	個人情報に十分注意している	7			鍵のついた書庫に保存している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		ジェスチャー等を利用し、意思疎通をはかる
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		地域との連携が図れるように地域の行事に参加する
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		マニュアルを作成し、職員や保護者に周知している。今後も継続したい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			非常時を想定した訓練を年2回実施しています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			年間計画をもとに実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		対象実績はないが、対象者がいた場合、放課後等デイサービス計画に記載するようにする
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	5	アレルギー児がいない為。	対象児なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			その都度作成し、情報共有をしている。